



みんなで「目標・努力・発見・自信」

2時限目と3時限目の業間と給食後に、20分程度のまとまった休み時間があります。その時間に合わせてグラウンドに出て、子どもたちが活動する様子を眺めるのが私の楽しみの一つです。この頃は、鉄棒の逆上がりの練習に励む1年生と、竹馬にチャレンジする2年生を見守っています。ある日「校長先生も竹馬に乗れるの？」と尋ねられました。実は私は竹馬に乗れません。「乗ってみようと練習しても、棒がくるくる回ってしまって、乗れないんだよ。」それを聞いていた、既に竹馬を乗りこなしている女の子が「かかとを上げて、つま先立ちで乗るといいんだよ。」とコツを教えてくださいました。その通りにやってみると、何と、それまで苦労していた棒はぴたりと止まったまま、しっかり足場に乘ることができ、さらに二、三步進むことができました。この歳になって初めて乗れたことを、子どもたちも一緒に喜んでくれました。コツを教えてくださいました女の子は、私と同じように初乗りにチャレンジしている仲間にも、その様子を観察しながら、的を射たアドバイスをします。休み時間のたびに「今日は〇歩あるけた」「あのネットのあるところまでいくことが目標だよ」と進歩を確かめながら練習に励む子どもたちは、日々できるようになっていく自分に自信をもち、新たな目標を自ら設定してさらに努力を続けます。私がすることは「大丈夫、きっとできるようになるよ。」と声をかけ続けることだけです。

自分が獲得している知識や技能を自分だけのものにするのではなく、多くの仲間にも伝え広げる。仲間からの学びを活かし、試行錯誤を繰り返して、自分の手で新たな知識や技能を獲得する。そうしたかかわり合いの中で、お互いのよさに気付き合い、かけがえのない大切な一人として尊重し合う心情が育まれていくのだと思います。

梅原小学校は、現在1学年1学級編制です。学年の区切りでいわゆるクラス替えをすることはありません。それ故、新学年のスタートを待つことなく次年度の様々な役割分担をしておくことができます。これは、活動の空白をつくらず、梅原小学校のみんなが大切にしていることを確実に引き継いでいくという点で、大きなメリットであると思います。特に、卒業していく6年生と、引き継ぐことを意識しながら実際に一緒に活動する時間が得られることは、後に残る者にとってとても心強く、自分にできるだろうかという不安を取り除くに十分で、大切な準備期間となっているはずです。委員会活動をはじめ、通学班や清掃活動等、様々なところで引き継ぐ活動が行われていきます。子どもたちには、前任者が見ていてくれるという安心感の中で、為すことの意味を問い直しながら、自分らしい取り組み方を見つけていく営みを楽しんでほしいと思っています。

学習の中でも、引き継ぐ場があります。3年生は、国語科の「じまんでできるようになったこと」という学習の中で、2年生を招いて発表会を行いました。

ぼくの学校じまはそうじです。そのわけの一つは、上級生が下級生にそうじのやり方を教えているからです。(中略) ぼくは2年生の〇〇さんにやり方を教えました。二つ目のわけは、もくびかそうじです。だまって、すみっこまでびかびかにするそうじをがんばっているからです。ぼくは、4年生になったら今までよりもっとそうじをがんばっていきたいです。

3年生の堂々とした発表ぶりは2年生のあこがれとなり、生活科の「3年生ヘジャンプ」の学習での、自分の目標づくりにつながります。

困難な状況においても、子どもたちの目は未来を見つめています。一人一人の「目標・努力・発見・自信」の営みに寄り添い、そっと背中を押すことが私たち大人の役割であると思います。